

科目名	Aesthetics English Ⅲ		Subject	Aesthetics English Ⅲ				
サブタイトル	Aesthetics English Ⅲ、「実践英語」を実社会で使用する状況に合わせて学び、練習し、応用する科目です。							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	DP1 知識・技能	DP2 主体的行動力	DP3 課題解決能力	DP4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	DP5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	DP6 美しく生きる力を実践できる能力
2 年	前期	選択						
授業形態	単位	時間						
演習	1 単位	30 時間						
ゲストスピーカー招聘回		なし	○	○	◎	○		
教員名	ELEC			メールアドレス	yca-elec.001@・・・			
教員の略歴	国内の英語学校や中等、高等教育機関にて英語講師として従事し、日本人学習者への英語教授経験があり。ELEC 所属の英語講師として、多数の教育機関や企業などで様々なレベルの英語授業を担当する他、カリキュラムや教材の作成も担当。							
実践的教育	×							
オフィスアワー	授業の前後 30 分に直接声をかけてください。							

科目の概要																	
実社会で仕事をする中で英語を使用する際に役立つ「実践英語」を、正確に、また使用される状況に合わせて的確に、わかりやすく使えるようになること目指す。そのために必要な英語句や表現を、使用される状況に合わせて学ぶ。また、多様な協働学習を通して、英語を使う楽しみや、履修後も継続的に英語を学ぶスキルを身につけることができる科目である。																	
授業方法																	
対面		オンライン		ハイブリッド		ディスカッション		プレゼンテーション		作品制作							
○		-		-		あり		あり		-							
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）																	
ディプロマポリシー		授業の目標															
DP3		実社会で起きうる様々なビジネス上の問題（大小問わず）を調査し、考察することができる。															
DP1		学生は、ビジネスシーンに適した様々な状況を説明する言語に触れ、そのような状況をロールプレイで演じることができる。															
DP2		教科書の例やグループプレゼンテーションの準備を通して、国際的なビジネス慣習を理解することができる。															
DP4		プレゼンテーションを作成する際に、他のグループメンバーの意見を取り入れたり、クラスメートとディスカッションをしたり、多様な考え方や意見を聞いたり、読んだりすることができる。															
教科書・教材																	
教科書		Business Result Elementary (2nd ed.); Grant, Hughes, Leeke and Turner (Oxford University Press, 2017)															
参考文献		なし															
各自準備教材		授業初日に指示															
評価方法																	
筆記試験		実技試験		受講態度		小テスト		レポート		プレゼンテーション		作品		課題		その他	
30%		-		10%		15%		-		25%		-		20%		-	
生成AIのみを使って作成されたスクリプトや視覚教材は、評価の対象になりません。 なお、出席数の不足や不正行為があった場合は評価対象とはしません。																	
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法																	
定期試験の要点について授業内で解説を行います。ミニ課題については次回授業時に総括コメントを返します。																	
履修上の条件・注意																	
授業内統一ルールは授業初日のオリエンテーションにて説明します。 ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。																	
本科目履修と関連する資格																	
なし																	

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第1回	Orientation / Unit 7: Working with words	(DP1, DP3) オフィス部門とその部門の役割（責任）に関連する語彙を理解し、使用することができる。	テキストの見直し、既習事項の復習、演習（Practice File のテキスト pg 98）	30 分
第2回	Unit 7: Language at work	(DP1, DP3) 場所や移動の前置詞を使って、物の場所や見つけ方について話すことができる。	テキストの見直し、既習事項の復習、演習（Practice File のテキスト pg 99）	30 分
第3回	Unit 7: Business communication	(DP1, DP2, DP3) 詳細の確認と訂正に関する具体的な情報を聞き取り、新出語句を用いて電話での会話中に詳細の確認と訂正を行うことができる。理想のオフィスやワークスペースのアイデアを話し合うことができる。	テキストの見直し、既習事項の復習、演習（Practice File のテキスト pg 98）	30 分
第4回	Project Lesson 1: Script Writing Review, Unit Quiz 1	(DP1, DP2, DP3, DP4) 以前に学習したプレゼンテーションのスキルを想起し、応用することができる。プレゼンのためのプレインストーミングを行い、アイデアを整理することができる。	選んだプレゼンについて調査（リサーチ）を行い、スクリプトを完成させる	190 分
第5回	Unit 8: Working with words	(DP1, DP3) 求職者のスキルや資質に関する語彙を理解し、使用することができる。	テキストの見直し、既習事項の復習、演習（Practice File のテキスト pg 100）	30 分
第6回	Unit 8: Language at work.	(DP1, DP3) 現在進行形の現在進行形を使って、進行中の動作や出来事について話すことができる。	テキストの見直し、既習事項の復習、演習（Practice File のテキスト pg 101）	30 分
第7回	Unit 8: Business communication	(DP1, DP2, DP3) 顧客等と会う約束をする際に、具体的な情報を聞き取ることができる。業務に最適な候補者を見つけるための5段階のプロセスを理解し、応用することができる。	テキストの見直し、既習事項の復習、演習（Practice File のテキスト pg 100）	30 分
第8回	Project Lesson 2: Topics and Value statements, Unit Quiz 2	(DP1, DP2, DP3, DP4) 効果的で魅力的な導入部を作ることができる。プレゼンテーションのトピックを選び、導入部のアイデアをプレインストーミングすることができる。	既習のプレゼンテーション・スキルを使う／取り入れる練習をする。プレゼンの作成を進める	190 分
第9回	Project Lesson 3: Slide Design	(DP1, DP2, DP3, DP4) プレゼンテーションに効果的なビジュアルをデザインすることができる	プレゼンテーション・スキルを実践し、発表の練習を続ける	190 分
第10回	Unit 9: Working with words	(DP1, DP3) ホテル業界に関連する語彙を理解し、使用することができる。国際的なホテルチェーンに関する具体的な情報を聞き取ることができる。	テキストの見直し、既習事項の復習、演習（Practice File のテキスト pg 102）	30 分
第11回	Unit 9: Language at work	(DP1, DP3) 比較形容詞を使って比較することができる。様々な商品やサービスの価格について話し、比較することができる。	テキストの見直し、既習事項の復習、演習（Practice File のテキスト pg 103）	30 分
第12回	Unit 9: Business communication	(DP1, DP2, DP3) 比較や選択に関する具体的な情報を聞き、新出語句を用いて商品やサービスを比較し、選択することができる。リテールの営業に関するアイデアを話し合うことができる。	テキストの見直し、既習事項の復習、演習（Practice File のテキスト pg 102）	30 分
第13回	Project Lesson 4: Presentation Final Practice, Unit Quiz 3.	(DP1, DP2, DP3, DP4) 既習スキルを用いて、プレゼンテーションの練習をすることができる。	プレゼンのフィードバックを見直し、改善点を含めるための修正をする。プレゼン発表用の練習をする。	60 分
第14回	Project Lesson 5: Presentation Day	(DP1, DP2, DP3, DP4) プレゼンテーションを行い、聴衆からの質問に答えることができる。	プレゼンの振り返り（自己）を行う	30 分
第15回	Units 7-9: Review	(DP1, DP2, DP3, DP4) 期末試験に向けて、7～9 ユニットで復習すべき重要な内容を確認し、定着するように練習することができる。	期末テストに向けてテキストの復習をし、準備する	120 分